

再生医療産業化への道筋 ～開発・薬事の視点から～

講師

金子 健彦

Heartseed 株式会社
開発担当取締役 Chief Medical Officer
研究開発本部長



慶應義塾大学医学部を卒業し臨床医として勤務した後、複数の外資系製薬企業において大型新薬の承認取得を含む臨床開発、メディカルアフェアーズなど幅広い経験を持つ。その後は再生医療業界へと転身し、サンバイオ株式会社、Heartseed 株式会社にて再生医療等製品の薬事、開発全般をリードし、再生医療の産業化を推進している

iPS 細胞誕生から 15 年、様々な疾病に対する画期的な治療に役立つとして期待も大きく、13 品目（作成日時点）が承認、臨床使用されています。

人の細胞を用いる性質上、品質が不均一となるため、限られた症例から短期間で有効性を推定、安全性評価を行い、承認後に真の有効性を評価することが可能となっている臨床開発プロセスや、原材料に関して、遺伝子組換え生物等の使用等による生物多様性影響を防止するための規制、生物由来原料基準など、従来の医薬品開発とは異なる開発戦略が必要となります。

今回の講演では、医師として従来医療と再生医療、双方の開発を経験されている金子先生に再生医療産業化の要点や今後の展望についてお話しいただきます。

日時

2021. 10. 20 (水) 18:00～19:00

会場・定員

オンラインセミナー (Zoom 開催) ・ 450 名

申し込み

以下の申し込みフォームまたは、QR コードから 10 月 15 日 (金) までにお申し込みください。(開催までに参加 URL をお送りします)
<https://forms.gle/cVrP7XNzDnYzD68PA>



◆ 公開セミナーとして開催されますので、どなたでもご参加いただけます



未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門